

【けがのお話】

これまでの常識といえば、「けがをしたら消毒してガーゼをあてる」とか「キズを乾かしたほうが早く治る」でした。

ところが、最近の新しい^{ひふくざい}被覆剤（キズを^{おお}覆う特殊な材料）の開発により、これまでの常識を100%くつがえすような治療法が全国で広まりつつあります。

《基本的な考え方》

- ① キズを乾かさない。
- ② キズを消毒してはいけない。
- ③ キズを消毒しても化膿を防ぐことができない。
- ④ キズにガーゼをあてる行為は治ゆを遅らせる行為である。
- ⑤ キズはどんどん洗ったほうが良い。

などが挙げられます。



ケガをするとそこから黄色っぽい汁が出ますが、この中にはキズを早く治そうとする大切な成分がたくさん含まれています。だからガーゼをあてて、この汁を吸い取ってしまうとキズの治りが遅くなります。



また、キズの表面を消毒することによって一時的にそこにいる細菌は死んでいますが、同時にキズの表面の自分の細胞も傷害を受けることになります。

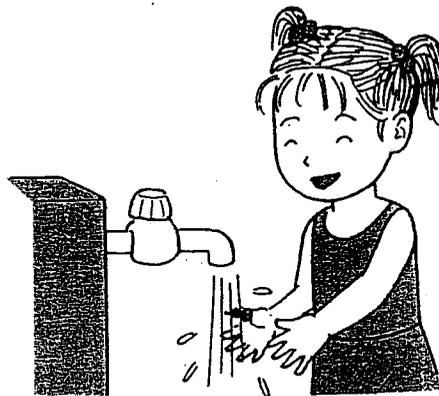
《キズが化膿しないためには》

ケガをしたらまずキズをよく洗うことです。これによってかなりの細菌は洗い流されてしまいます。洗浄しても化膿してしまいそうな汚いケガには抗生物質の内服または注射ということになります。薬は飲みたくないとか小さなキズであれば頻回に洗えば良いということです。

《家庭でできる簡単なキズの手当て方法》

- ① まずは水道水でしっかりキズを洗う。泥も砂ぼこりもばい菌も水道水でどんどん洗い流す。

水道水は清潔なのか？とか無菌なのか？という疑問もあるでしょうが、少なくとも呉市水道局の水は大丈夫です。



- ② 洗った後は何で覆う？家庭にある食品用ラップで覆うだけでオーケーです。ラップでぐるぐる巻きにしてもいいし、四隅をビニールで固定してもいいです。さらにその上をタオルで覆って包帯をしましょう。これによりキズは湿潤環境の中で再生を始めます。

これを毎日取り換えていけば、ちょっとしたキズなら数日で治ってしまいます。

始めに書いた新しい被覆剤というのは、これらの治療をより確かにするために医療機関用に開発されたものです。キズの深さ、大きさ、汁の量などにより数種類使い分けことができます。市販されているものでは、「キズパワーパッド」というのがあります。

いずれも簡単便利でキズにやさしい処置方法です。現在どんどん広まりつつありますが、まだまだ広島県内では一般的ではないので、たいていは病院に行くとキズを消毒されます。

以下のインターネットホームページでは「キズを消毒しない、乾かさない」で治療している全国の医者のリストや「キズの治療に関する基本知識」などが満載されています。参考にしてください。

※「新しい創傷治療」：<http://www.wound-treatment.jp/>